

特集 議員の仕事Q&A ~主な仕事をご紹介します~

注目議案

令和6年度 決算

◆わたしたちのお金はどう使われたの？

一般会計 歳入 209億6575万円、歳出 199億4421万円

令和7年度 補正予算

◆道の駅のリニューアルに向けて

- 一般質問
7人の議員が登壇
- 各委員会レポート
- 議会広報特別委員会 研修参加報告
- あい・らぶ・マイタウン



幸田町議会HP

こんにちは
ぎが
幸田

表紙写真：菅原 せいじ 誠二さん（大草）



陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切にしよう

親子で協力！クリーン運動（大草区）

主な仕事をご紹介します～

(令和6年度の動き)



どのくらいはたらいっているの？

定例議会や委員会など、行政と公式に話し合う場（公務）が 議員平均で91日。（役割によりばらつきがあります）

その他に、議会で話し合うために必要な準備が33～188日。（社会情勢や議員によってばらつきがあります）

※令和2年度実績 年間平均 191（日）

	最 小	最 大	平 均
公 務	56	131	91
その他	33	188	100

全議員のアンケートによる

議員が普段やっていることは？

議員のルールを定めた「幸田町議会基本条例」に基づき、町長の提案に意見したり、町民の声や意見を反映させ、審議の過程で様々な意見を出し合います。

「町民の声を行政の施策に反映させ、税金の使われ方を監視する」こと。

主な公務として定例議会や委員会があり、行政と公式な場で慎重に審議し、賛成・反対を決めます。

町独自の法律(条例)を提案することも、仕事のひとつです。

その他に町民の声を確認したり、近隣市町・関係各署の調査などを行い、議会で話し合うための準備を行います。

（下記に委員会等を具体的に記載）



議員への問い合わせや相談は、いつでも応じています。ホームページをご参照ください。 幸田町議会HP

第1回定例会

3月

- 一般質問
- 議案質疑
- 予算
- 委員会
- 議会広報

広報取材
編集

4月

- 議会広報
- 議員FT会

編集

5月

- 議会運営
- 協議会
- DX推進
- 議員FT会
- 議案説明会

調査・研究

Q 予算特別委員会は何にをするの？

A 町のお金の使い道を話し合います。

現役世代の声も届いていることが実感できて安心した。

（今村さん）



8月

- 協議会
- 臨時会
- 第7次総計策定
- 議員FT会
- DX推進
- 議会運営
- 議案説明会
- 議会広報
- 委員会管内視察

調査・研究

編集

7月

- 議会広報
- 議員FT会
- 委員会管内視察
- 議会運営

広報取材
編集

6月

- 一般質問
- 議案質疑
- 委員会
- 議会運営
- 議会広報

第2回定例会

Q『議会だより』はどうやって作っているの？

A 議員主体で議会ごとに広報取材や編集を行います。

議員が作っているとは
知らなかった。
(秋山さん)



1月

- 議会広報
- 行政視察受入

編集

第4回定例会

12月

- 一般質問
- 議案質疑
- 委員会
- 議会運営
- 議会広報

広報取材
編集

Q 決算特別委員会は何にをするの？

A お金の使い方をみんなで見直します。

やったことが評価され
て、来年に活かされる
のですね。

(竹下さん)



2月

- 議会運営
- 協議会
- 議案説明会
- DX推進

調査・研究

調査・研究

11月

- 協議会
- 第7次総計策定
- 議会運営
- 議案説明会
- 議会広報

編集

10月

- 行政視察受入
- 議会広報
- 委員会行政視察
- 議会運営
- 合併70周年式典

広報取材
編集

第3回定例会

9月

- 一般質問
- 議案質疑
- 決算
- 委員会
- 議会運営
- 議会広報

Q 町行事で見かけるけどいつも参加しているの？

A 現地で見聞きする事で更なる活性化を、
執行部へ提言するなどのためです。

地域の課題と町全体の課題を議員
がどのように取り組まれているの
かが分かると良い。(尾崎さん)



令和6年度 決算

わたしたちのお金は
どう使われたの？



一般会計の決算額

歳入 209億6575万円 **歳出** 199億4421万円

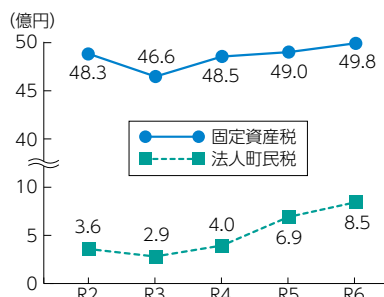


歳入

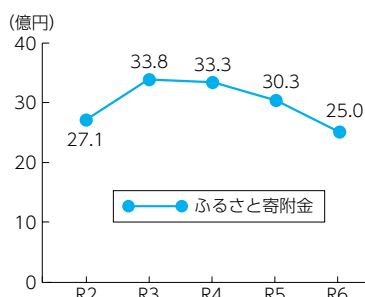
町税の法人町民税・固定資産税は増加したが
ふるさと寄附金は減少



法人町民税、固定資産税（共に町税）の推移



ふるさと寄附金の推移



問 寄附金減収に対し、今後の安定財源確保への取り組みは？

答

- ・企業誘致での法人町民税確保
- ・区画整理推進での人口増加に伴う固定資産税の増加
- ・国・県補助金の色々なメニューの活用等を考えている。



歳出

町村合併70周年記念事業で活気・魅力ある町を発信



多数の参加者で開催した記念式典

幸田町町村合併70周年
記念事業

4億9992万8777円

- ・イベント
記念式典等 ……………47事業
- ・物品等
生活応援チケット配布等
……………24事業

問 記念事業実施結果を、どのように評価しているか？

答 各種イベントの総参加者数は、11万人超。70周年イベントは成功と認識しており、次回以降に継承していくため、結果を精査し記録に残しておきたい。

精励されたい。

令和6年度決算は、町税全体で増収となったが、年々増加する義務的経費や公共施設の維持改修費、新規事業に要する経費など増加要因が多く、今後も予断を許さない状況が続くものと思われる。事務事業の必要性・有効性・効率性に視点を置いて、的確な予算配分等を含め、適正な公金の支出と事務処理に心掛け、町の発展のため、なお一層職務に

は正確で、予算の執行はおおむね適正と認められた。財政指標の健全化判断比率等については、健全な数値と認められた。

正当な決算と認める

幸田町監査委員 大浦 裕
松本 忠明

令和6年度決算審査報告



LINE 利用に係る
運用保守支援業務
242万円

問 登録者数の推移は？
答 令和 6 年2864人、令和 7 年4874人で約2000人増加。約11%の登録率だが、近隣市は80%～90%であり、今後上げていきたい。併せて見やすい表記に取り組んでいきたい。



図書館座席予約システム
構築業務
697万4000円

問 昨年11月末に運用開始したが、どのような変化があったか？
答 夏休みには、4 時台から場所取りで人が並んだが、システム運用後は無くなり、閲覧席は座れないという状況は発生していない。トラブルや苦情も特にない。

図書館の座席予約受付機

多くの不用額を出し10億円超の黒字である。流用・充用の乱用ではなく歳出管理をすべきだ。資本金10億円以上の大企業に制限税率 8・4 %で自主財源の確保を。ふるさと寄附金を依存財源にすべきではない。

町村合併70周年記念事業は、大盤ぶるまいのバラマキであり取捨選択が必要であると指摘できる。物価高騰など町民生活を圧迫しており、不要不急の事業は見直し、町民の福祉増進の町財政運営を求める。

町民福祉増進の町財政運営を
丸山千代子議員



町民要求を把握し的確な予算配分を
藤江徹議員

予算で計画した案件は、おおむね執行できたと判断する。町村合併70周年記念事業として、諸施策を実施し、活気と魅力のある幸田町を発信できた。

財政指標は全て健全な数値となっているが、財政分析では、財政力指数以外は前年比悪化傾向であることから、町民の要求をよく把握し、効率の良い事務執行で、的確な予算配分にて諸施策の実行を望む。

一般会計・特別会計・公営企業会計の決算額と採決結果

会計区分		歳入	歳出	採決
一般会計		209億6575万円	199億4421万円	反対1：賛成13で認定
特別会計	土地取得	1億730万円	1億730万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	31億9081万円	31億8319万円	反対1：賛成13で認定
	後期高齢者医療	6億5296万円	6億5231万円	反対1：賛成13で認定
	介護保険	25億2776万円	24億7807万円	反対1：賛成13で認定
(公営企業会計 税抜き)	水道事業会計	収益的収支 8億2370万円	6億8556万円	全員賛成で可決及び認定
		資本的収支 1億31万円	5億5146万円	
	下水道事業会計	収益的収支 15億3154万円	15億2174万円	全員賛成で認定
		資本的収支 4億9444万円	6億5102万円	

9月議会のあらまし

会期9月1日～25日

議案

全議案承認・可決

- 報告1件 健全化判断比率について
- 認定1件 令和6年度岡崎市額田郡模範造林組合一般会計の決算の認定について
- 委員選任1件 幸田町固定資産評価委員会の委員の選任について
・松平 裕実 氏（岡崎市） 任期：令和8年1月1日から3年間
- 条例改正5件 幸田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例 など
- 工事請負契約1件 3小学校体育館空調設備設置工事その2 ⇨下記参照
- 補正予算関係3件 令和7年度一般会計補正予算(第2号) など ⇨7ページ参照
- 決算認定関係7件 令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について など ⇨4・5ページ参照

◆最終日の追加議案◆

- 議員提出議案 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について

陳情

陳情9件を審議し、1件を採択とした。

一般質問

7人の議員が町政全般にわたる課題をただした。 ⇨10～13ページ参照



後期の小学校体育館エアコン設置始まる!

これで全小学校の体育館が快適に



- ・幸田小学校、中央小学校、荻谷小学校3校の請負契約完了
- ・工期 令和8年1月末完了予定

◆契約金額…**2億900万円**



補正予算



※補正予算とは

当初予算の成立後に新しく組まれる予算です。
自然災害や社会情勢の変化で新しい予算が必要な場合に追加されます。

道の駅のリニューアルに向けて



整備事業検討業務委託：2000万円

問 盛り込んだ検討内容は？

- 答
- ①道の駅の課題の打開策
 - ②防災機能強化の調査
 - ③ICT活用した顧客分析
 - ④上記を含む複数の構想図

問 機能強化含む拡張計画は？

- 答
- ①駐車場の拡張
 - ②トイレの増設
 - ③観光を加速する拠点

学校プールを安全に使い続けるために



プール修繕等工事：600万円

問 プール修繕工事の内容は？

- 答
- 南部中学校の排水管からの漏水対策として配管の敷設替え工事を予定している。

問 他の学校は安全面で問題ないか？

- 答
- 幸田中学校プールのバルブ取替等、対策を含んでいる。

賛否の分かれた議案等		議席番号																	議長	議決結果 (賛成:反対)
		議員名																		
		藤本 和美	吉本 智明	野坂 純子	松本 忠明	長谷川 進	岩本 知帆	田境 毅	石原 昇	鈴木 久夫	黒木 一	藤江 徹	稲吉 照夫	笹野 康男	丸山 千代子	都築 幸夫	廣野 房男			
議 案 等																				
陳情第2～6号、 第8～10号	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 など	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	○	×	—		不採択 (1：13)	

※議長は賛否に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、可決・否決を決めることができます。

一般質問

7議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

誰も見ることがない議場の裏側。議会事務局職員が議場の発言者を捉え、マイクとカメラを操作します。



今後とも未来に希望の持てる幸田町になるように期待しています。

町議会を傍聴するようになり、幸田町にはさまざまな問題があることがわかりました。特に古くからの風習が残る高齢者の多い町で、町に移住して来た若い世代の方々が暮らしやすくなるように、議員の皆さまが、町民を代表して質問して町当局も難題に細かく可能性を追求して、問題解決に向け努力している様子がわかりました。



かわい せつこ
河井 節子さん

：議会傍聴記：
新しい幸田町に
向かって

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像

過去の議事録



一般質問事項

質問者	質 問	回 答	頁
岩本 知帆	1 臨床心理士を採用する考えは 2 プレコンと包括的性教育の推進を 3 大草・広野地区の多世代居場所構想は	1 支援は必要 採用に努める 2 知識の普及・啓発など推進していく 3 将来的に総合福祉交流施設整備を検討	10
野坂 純子	1 不妊治療費助成制度の見直しの考えは 2 ヤングケアラー支援の今後の進め方は 3 自転車の交通安全強化や法改正の周知は	1 調査研究し検討していきたい 2 こども家庭センターが相談窓口で対応 3 違反内容などHPや広報等で周知を行う	
都築 幸夫	1 役場周辺3ため池の耐豪雨化、耐震化を	1 低水管理や、満水にならない構造を検討	
長谷川 進	1 農業のなり手不足をどうするか 2 大地震による建物倒壊防止施策は 3 ラジコン草刈り機導入の進展は	1 新たな産業振興発展に取り組む 2 耐震診断、耐震改修制度の周知を図る 3 総合的に判断し導入に向けて再検討する	11
藤本 和美	1 不登校の子ども卒業後の支援は 2 ケアマネのシャドーワーク周知を	1 ソーシャルワーカー以外は整っていない 2 隣接市と情報共有しリーフレット検討	
丸山千代子	1 学校給食費無償化の実施を 2 修学旅行費等の無償化実施を 3 高齢者の居場所、日常生活支援を	1 国の流れに沿って進めていく 2 保護者負担軽減の動向を見て判断 3 地域包括支援センターで充実させたい	12
田境 毅	1 ドライバーが休憩しやすい環境を 2 現役世代が活躍しやすい行政区づくりを	1 普通車とトラックに分けて敷地確保 2 各種委員の廃止や削減など負荷を軽減	

議会傍聴記・質問議員の顔写真は別撮りしています。

一般質問ページをリニューアルしました！

議会映像を見てみよう！

(YouTubeとは契約関係にないため、配信映像が正常に視聴できないことがあります。)

YouTubeでの検索



YouTubeの検索で
『幸田町議会』と検索

幸田町議会



または

QRでの検索



カメラで
QRコードを読み取る





映像



臨床心理士を採用する考えは

支援は必要 採用に努める



いわもと ちほ 議員
岩本 知帆

子どもの発達や家庭の課題解決に専門家の支援は欠かせない。「子ども家庭支援センター」の体制強化に向けての考えを問う。

問 臨床心理士を採用する考えは。

答 住民こども部長「子ども家庭支援センター」では臨床心理士の支援が必要。採用に努める。

プレコンと包括的性教育の推進を

知識の普及・啓発など推進していく



プレコンノート

引用：国立育成医療研究センター

ことば解説
「※プレコンセプションケア」
将来の妊娠に向けた心とからだの準備

健康保健担当参事
プレコンの周知が重要。正しい知識の普及や啓発など推進していく。

問 プレコンの推進と包括的性教育の実現に向けた取り組みは。

答 教育部長「養護教諭との会議で「より早い段階での教育が必要」との意見があり、有効な教育方法を検討。」

※プレコンセプションケア（以下プレコン）と実践を支える包括的性教育の推進方針を問う。

不妊治療費助成制度の見直しの考えは

調査研究し検討していきたい



のさか じゅんこ 議員
野坂 純子

問 本町の不妊治療費助成制度の概要と運用状況は。

答 健康保健担当参事
▼助成額は、医療機関において受けた、一般不妊治療に要した自己負担額の2分の1以内、年間上限額5万円。対象者は、治療開始時の年齢が43歳未満。申請件数は、令和6年度47件。助成金の平均額は1人約3万3千円。

問 助成によって妊娠につながった件数

答 令和4年度10件、令和5年度12件、令和6年度22件。

問 2人目、3人目以降の助成額に差異はあるのか。

答 差異はない。

問 本町の助成制度の特色は。

答 医師が認める一般不妊治療において、保険適用・適用外にかかわらず助成の対象。

問 不妊治療費助成制度（助成対象の拡大、助成額など）の見直しの考えは。

答 助成額の見直しなど調査研究し、検討していきたい。



不妊治療助成制度もこのアプリから



つばき ゆきお
都築 幸夫 議員

役場周辺3ため池の耐豪雨化、耐震化を

低水管理や、満水にならない構造を検討



映像



中央公園
かぎ堤池 堤防
中央公民館駐車場
一昨年的大雨でかぎ堤池から越水

役場周辺の3ため池（上流より新堤池、かぎ堤池、大山池）は、地震や、大雨で堤防が決壊すると、周辺住民へ甚大な被害の可能性がある。3ため池の防災対策を問う。

問 3ため池の耐豪雨化、耐震化を今後どう進めるのか。

答 環境経済部長▼低水管理や、豪雨時

に満水にならない構造を検討する。

問 大雨時のかぎ堤池越水対策として、中央公民館駐車場を、大雨時調整池としての機能の活用はどうか。

答 駐車場利用者などへ、注意喚起看板設置による周知など、ソフト対策で検討する。

問 3ため池上流の幸田萩谷土地区画整理地内の雨水は、30年確率洪水流量設計の調整池に入り、前田川に流れ込む。100年確率の豪雨が、本町は約10年に一度やってくるが、前田川は氾濫しないか。

答 建設部長▼広田川の河道拡幅及び菱池遊水地の整備により、前田川の水位上昇を抑制する。

農業のなり手不足をどうするか

新たな産業振興発展に取り組む



映像



農業の高齢化が進み後継者も少ない。農業離れを防ぐ考えを問う。

問 農業人口と農作物別会員数推移は。

答 環境経済部長▼5年間で91名の農家が減少、部会全体として38軒が減少した。

問 農業離れない考えはあるか。

答 部会の活動補助金、商品技術の導入活動支援、農業体験教室などを実施している。

野菜のサブスク



農業を楽しむ家族



問 定額会員制のサブスク農業は安定収入で、メリットが大きい。把握しているか。

答 詳細は把握していない。

問 農業の労働時間削減実証済み。後継者づくりの一助に。

答 幸田町に合った取り組みを検討する。

問 休耕地を利用する価値はある。どの程度あるか。

答 全体の1%と非常に大きな面積。

問 休耕地再利用で、食料自給率向上や地域経済の活性化を進める考えは。

答 産業振興発展に農業協と取り組む。



映像



不登校の子どもの卒業後の支援は

ソーシャルワーカー以外は整っていない



ふじもと かずみ 議員
藤本 和美

問 中学卒業時、不登校の人数は。

答 教育部長▼令和2年から5年推移で8人、14人、20人、33人、31人と増加傾向。33人からの減少は、近年の様々な支援が要因。

問 中学校卒業後の支援の現状は。

答 在校時にスクールソーシャルワーカーの支援を受けていた生徒のうち、現在10人が支援継続。全てのケースに対応できるわけではない。

問 不登校の子ども親は横のつながりがなく、気軽に集まれる場所を求めている。設置できるか。

答 進路説明会は30人以上の参加があり、情報交換の場になった。気軽に集まれる場の提供は、今後の課題として検討。

問 不登校の子どもが中学校を卒業してからの支援方針は。

答 ソーシャルワーカー以外の支援体制は整っていない。近隣市の子ども若者総合相談支援センターなどを調査研究し、課題について検討する。

ことば解説
「※スクールソーシャルワーカー」
学校において児童・生徒が抱える様々な問題を解決するため支援を行う専門職。

ケアマネジャーのシャドーワーク周知を

隣接市と情報共有しリーフレット検討



学校給食費無償化の実施を

国の流れに沿って進めていく



まるやま ちよこ 議員
丸山 千代子

学校給食費の無償化は、子育て支援と同時に、憲法26条の「義務教育はこれを無償とする」という立場から学校給食費の無償化を。

問 国は学校給食費の無償化は令和8年度を目指すとしているが、進捗状況の把握は。

答 教育部長▼現段階では情報が変わりにくく、動向は確認できない。

問 国は小学校からとっている。町独自でも令和8年度から



野菜たっぷりの給食

小中学校合わせて実施すべきではないか。

答 町長▼小中同時進行がベターであると思うが、多大な経費を要するため国の流れに沿い、独自で考える視点には立っていない。

問 学校給食費の公費計化で、教員の負担軽減を。

答 教育部長▼岡崎、蒲郡市が公費計化されている。調査研究したい。

修学旅行費等の無償化実施を

保護者負担軽減の動向を見て判断

高齢者の居場所、日常生活支援を

地域包括支援センターで充実させたい



たきょう つよし
田境 毅 議員

ドライバーが休憩しやすい環境を

普通車とトラックに分けて敷地確保



映像



「筆柿の里幸田」が防災道の駅に選定されたことは大きなチャンス。これまでの課題解決をはじめ、地域に新たな活力をもたらす戦略的な施設機能拡充の、またとない機会である。

問 道の駅リニューアルにより、道の駅エリアを活用した雇用創出は課題だ。

答 環境経済部長 ▼施設増設などにより、新たな担い手の創出や、雇用対策にも繋げたい。

問 利用するドライバーが休憩しやすい環境づくりを。

答 普通自動車専用と、トラック専用を、別の敷地に分けて確保し、新設するトラック専用駐車場には、トイレや自販機コーナーなどを設置、イベント開催できるスペースを提案したい。



路上駐車の間を通過する利用者（道の駅筆柿の里幸田）

委員会レポート

福祉産業建設委員会

管内視察

町内5施設の状況について学ぶ



老人福祉センターの状況を確認

7月15日
●幸田町老人福祉センター
昭和33年建設、年間約8000人の高齢者の利用があり、健康増進、教養の向上などに寄与し、利用者に喜ばれる施設である。

課題
・施設老朽化により、風呂の利用停止など利便性が損なわれている。
・完全バリアフリーでなく、高齢者に優しい施設でない。

対策
・施設の大改修もしくは移転も含め、建て替えが必要。



粗大ごみ集積場運用状況を確認

8月8日
●幸田町粗大ごみ集積場
平成15年4月、JA筆柿選果場であった当施設を借り受け、集積場として運用開始。令和6年12月、土地、建物をJAより買収。

課題
・年末、年度末など搬入車両の渋滞発生により、近隣住民に迷惑がかかる。
・昭和44年建築の建物で老朽化から大規模改修が必要。

対策
・規模拡大して、利用しやすい施設への改修の検討が必要。（他3施設を視察）

福祉産業建設委員会

協議会
8月1日

こども誰でも通園制度 来春事業開始



実施場所を確認

答 運用を検討する。

問 0歳と2歳の両方を預ける場合は、午前、午後に分かれて預けるのは困る。

全ての子育て家庭に対し、保護者の多様な働き方、ライフスタイルによらず支援強化のため創設する通園制度。
・菱池子育て支援センターで、火、木曜日
・6カ月から3歳未満が対象
・午前（1〜2歳）午後（0歳）各2時間半



舗装整備前の状況

答 建物の価値など調査し、慎重に整備の方向、民間活力の利用など検討する。（その他8項目を協議）

問 今後検討が必要なツツジ会館老朽化に対する整備方針を出してほしい。町民は、早い整備を望んでいる。

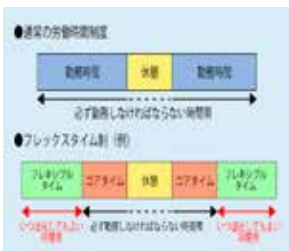
答 遊具利用者の安全性、利便性向上のため、インクルーシブ遊具周辺など、ゴムチップ舗装整備を実施。併せてベンチなど休息施設整備。

中央公園遊びゾーンの安全性向上

総務教育委員会

協議会
8月7日

フレックスタイム制度 が始まる



フレックスタイム解説図

答 変更は考えない。

問 窓口業務時間帯は変更あるのか。

答 範囲で進めていく。

問 住民対応サービスが落ちないか。

・令和7年10月1日導入目標

・3交代勤務の消防署職員や保育士などは、利用は認めない。

【目的】 始業時刻と終業時刻を自由に設定できる時差出勤を導入し、仕事と生活の調和を図り効率的に働くため。

【背景】

救急業務に
マイナ保険証を活用

本町の救急出動件数は増加傾向。救急と医療の連携スピードが喫緊の課題である。

【今後の取り組み】

総務省消防庁から端末を配布され、令和7年10月1日以降事業開始予定。

問 高齢者のマイナバー取得状況は。

答 把握していない。

問 高齢者へのPRをしてほしい。

答 広報こつたでお知らせする。

（その他2項目を協議）



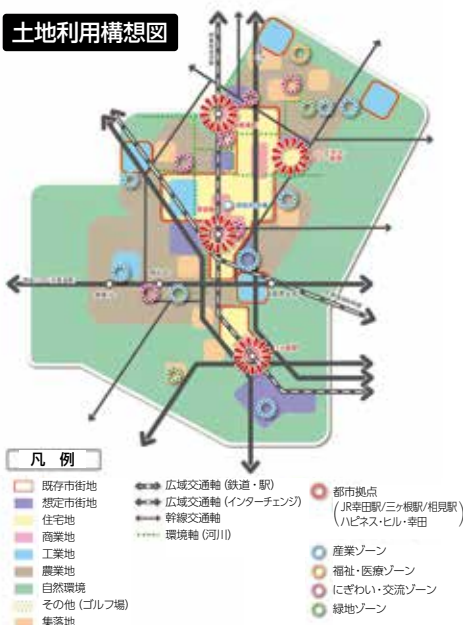
マイナ保険証の準備

第7次幸田町総合計画策定特別委員会

協議会
8月12日

第7次総合計画 土地利用構想案示される

土地利用構想図



土地利用の基本方針
地域特性を踏まえ、
(1)自然環境との調和
(2)優良農地の保全
(3)都市発展の拠点整備
(4)地域生活の拠点整備
(5)緑豊かな産業空間の創造
に配慮し、自然的、社会的、文化的条件に適合した土地利用を推進する。

(1) 4つの都市拠点
・幸田駅周辺市街地
・三ヶ根駅周辺市街地
・相見駅周辺市街地
・ハピネス・ヒル・幸田周辺市街地

問 町外からの流入、観光などイメージにくい。
答 若者に魅力を感じさせる拠点記載、町外からの観光も考慮する。

(2) 4つのゾーン
・産業ゾーン
・福祉・医療ゾーン
・にぎわい・交流ゾーン
・緑地ゾーン
町全体としてコンパクトでまとまりのある市街地形成、ネットワーク整備を進める。

D X 推進特別委員会

協議会
8月12日

令和8年1月26日から 標準準拠システムに移行



国が策定した自治体DX推進計画及び、標準仕様書に適合したシステムである「標準準拠システム」の導入が義務付けられている。情報通信システムを活用し、住民の利便性の向上や自治体の行政運営の効率化を図る。各自自治体20業務のうち「児童扶養手当」「生活保護」の2業務を除いた、「戸籍」「児童手当」「障がい者福祉」など18業務が対象で、各自自治体同様の様式になる。

問 本番移行までの準備はどのように。
答 11月末に本番と同じような環境で、移行リハーサルを行う。
問 個人情報漏洩対策は大丈夫か。
答 担当職員の操作履歴を常に把握できる体制を作っている。
問 標準準拠システムの利便性向上は、どこまで進めるのか。
答 書かない窓口構築及び標準準拠システムとデータ連携する。



だよりを求めて



愛知県市町村議会広報
研修会(名古屋) 8月5日(火)

議会広報「こんにちは 幸田ぎかい」
196号診断で学ぶ

◆表紙

写真撮影者が住民で、シリーズでの自治参加が伝わる。

◆令和7年度一般会計予算

見開きページは、一昨年のフリニック紙と比べ関心をひく。

◆予算特別委員会

事業小見出し+予算の問と答+写真掲載セットで読みやすい。

◆3月定例会のあらまし

議案、一般質問の案内、条例制定などのPick Up 報告と、町長方針掲載は適切。

◆一般質問

半ページで、議員名+顔写真+問と答見出し+写真イラストセットで読みやすい。

◆閉会中の委員会レポート

管内視察、協議内容が簡潔で、写真を活用し読みやすい。

◆あの一般質問はどうなったの

その後の検証は議会広報に好企画。

◆あい・らぶ・マイタウン

投稿記事、挿絵も地元の協力で高評価。

◆診断での留意点

行政と議会への意見や要望を広聴企画で増やしたい。



2年ぶりのアイリス愛知での研修



議会広報視察研修会
【群馬県】 8月27日(水)

千代田町議会
奨励賞受賞から学ぶ

※主な意見交換

◆議会広報の心得は

- ・議会と住民のコミュニケーションを図る手段が広報である。
- ・議会の審議結果を読みやすく編集する。

◆興味深い議会広報づくりは

- ・住民の関心が高いテーマにする。
- ・特集の突撃インタビューは身近な記事。
- ・写真、イラスト、動画の掲載紙面にする。

◆議会広報DX推進は

- ・タブレット端末及びラインワークス活用で、資料の共有化とペーパーレス化実施。

◆全国町村議会広報コンクール奨励賞を受賞時の留意点は

- ・議会の内容を町民にわかりやすく伝える。
- ・決算と予算以外は、町民ニーズの企画にする。

千代田町役場にて熱心な意見交換





議会広報 読みやすい議会

特別委員会



・広報は町民が中心となるインタビュー記事掲載する。

◆丘村講師まとめ

- ・質問内容の明確化。
- ・レイアウトと文字数を考える。
- ・記事題材の目的を明確にする。

○インタビュー準備は

◆インタビュー記事で読まれる議会広報

専門講師から時流のテクニックを学ぶ

全国町村議会広報研修会（東京都）
8月28日（木）



・動画は人が中心となる撮影環境をつくる。

◆渡川講師まとめ

- ・撮影の空間を考える。
- ・インタビューは気負わない。
- ・距離と高さを考える。
- ・撮る構図を考える。

○人が登場する動画を

◆スマートフォンを活用した動画作成

◆議会活性化と運動した広報づくり

○議会広報の心得は

・行政用語を使わない。

・専門用語は解説する。

・質疑や討論発言は（だ、である）それ以外（です、ます）

・言ったことだけ書く。

◆平山講師まとめ

・読まれる議会だよりは、若い人に理解できる内容にする。

◆【全研修総合所感】

議会広報のデジタル化により、インタビュー写真・動画記事掲載が急務である。

研修会に参加した委員の感想は



藤江 徹 委員

読まれる広報誌づくりを目指して

従来は、読まれる広報とするための記事内容や、表現の仕方が主な研修テーマであったが、今年は、写真や動画の撮影技術や、インタビューの仕方等、今までにない視点での研修もあり、今後の広報誌づくりの参考とした。



松本 忠明 委員

私が変わります広報誌

全国の議会広報誌の大会で奨励賞を受賞した群馬県千代田町の視察研修を実施した。町民の声に耳を傾け、疑問や要望に応えていくという熱い思い・姿勢を見習って、町民目線の広報誌づくりを進めていきたいと強く感じた。



千代田町議会だより「大河」

思い出がたくさん できる町民プール

坂崎小学校6年
ばば ななこ
馬場 七虹さん



私は、毎年夏休みになると町民プールに一週間に一回は行きます。町民プールで好きなプールの種類は「流れるプール」です。浮かんでいるだけで運んでくれるから楽し、友達と話しながら浮き輪に乗っていてもいいし、泳いでいてもいいしと、遊べるバリエーションがたくさんあるので大好きです。以前、落とし物を拾ったとき、従業員さんの対応がとてもすてきで、私もよい気持ちになりました。町民プールは、友達と行っても家族で行っても、思い出がたくさんできる場所です。幸田町にそういう場所が増えてほしいなと思います。



やさしい町 幸田

豊坂小学校6年
すみ や きずな
角谷 絆さん



ぼくの家近くには、野菜の直売所があり、地域でとれた新せんな野菜がならんでいます。ある日、直売所に行くと、ちょうどお店が閉まる時でした。中にはぼくの知っている人がいて、あいさつをすると、「おっ、ひさしぶり。中に入りなよ。」と、明るく声をかけてくれました。中に入ると、ゴーヤやナスがたくさんあって、「きれいなナスですね。」とぼくが言うと、「そうだろう、ひとふくろ持って帰るか。」と、持たせてくれました。

幸田町には、明るくやさしい人がたくさんいます。ぼくもやさしく親切な人になりたいです。



まきの つぎお
挿絵：牧野次男さん（芦谷）

議会広報特別委員会

委員長 岩本 知帆

副委員長 長谷川 進

委員 藤江 徹 田境 毅 松本 忠明
野坂 純子 吉本 智明 藤本 和美

幸田町議会だより No.198 2025.10.28発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会
発行責任者 ● 議長 廣野 房男
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970
Eメール gikai@town.kota.lg.jp
幸田町ホームページ <https://www.town.kota.lg.jp/>

議会を傍聴してみませんか

【場所】役場5階 【時間】午前9時から

【12月定例会の予定】

12月 1日（月）開会、議案の説明
3日（水）一般質問
4日（木）一般質問
8日（月）議案の質疑
10日（水）福祉産業建設委員会
11日（木）総務教育委員会
18日（木）議会運営委員会
22日（月）討論、採決、閉会

日程は変更される可能性があります。一般質問などは、幸田町議会ホームページで随時公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151（直通）